

令和二年度予算は、東京2020大会を確実に成功させるとともに、「成長」と「成熟」が両立した、輝ける「未来の東京」を創る予算として、福祉や教育、防災対策などの一般会計予算7兆3,540億円と上下水道などの公営企業会計、都営住宅などの特別会計を合わせて、約15.5兆円が示されました。



↑ 詳しくはこちら

ここに注目!

オリンピック・パラリンピックがある2020年は 東京の暮らしの転換点!

#1 社会で子育てを支える体制へ

児童虐待などが社会問題化する中、子育てする親を孤立させないよう産前から産後まで、切れ目なく社会全体で子育てを支える仕組みの強化が必要です。

- ・とうきょうパパママ応援事業 27億円

#2 真のダイバーシティ社会に

障がいの有無や性別、国籍などに関わらず、誰もが自分らしく暮らしていける社会へと歩みを進めます。

- ・ソーシャルファームの実現
- ・LGBT等の性的マイノリティの方々へのSNS相談窓口や交流の場を設置



▲PRIDE HOUSE東京2019を視察

#3 気候変動問題解決の旗振り役に

昨年の台風15号、19号では災害の怖さを改めて思い知る機会となりました。気候変動への対応、災害対策の両面から、再生可能エネルギーの地産地消(自産自消)を進めることが重要です。

- ・卒FIT後の再生可能エネ買取「とちょう電力プラン」 0.4億円
- ・地産地消型再エネ増強プロジェクト 3億円
- ・家庭における熱の有効利用促進事業 12億円
- ・太陽光発電と蓄電池導入を促進する「自家消費プラン」 45億円



▲ソーラーシェアリングを視察

都政に関するご意見・ご要望をお聞かせください

森沢きょうこ事務所

〒141-0032 東京都品川区大崎5-6-12 小出ビル201

Tel 03-5759-4555 Fax 03-5759-4556

Mail info@kyokomorisawa.jp

無所属 東京みらい
都議会レポート

2020年冬

Vol.7

森澤恭子プロフィール

1978年11月16日生まれ。慶應義塾大学法学部政治学科卒業。テレビ局記者やデベロッパー広報など民間企業でキャリアをつむ。2017年7月の東京都議会議員選挙で初当選。経済港湾委員会理事。

東京都議会議員(品川区選出)

森沢きょうこ

恭子

2019年後半、初めて各会計決算特別委員会の委員として質疑に立ちました。

また、常任委員会の経済・港湾委員会では、女性の再就職・起業支援を始め、イノベーション創出、障がい者雇用など、多岐にわたり質疑をしました。質疑の一例を紹介します。

令和元年 各会計決算特別委員会にて

Q 史上初めて知事が出席する中での決算審議を、令和2年度の予算編成にどのように活かしていくのか伺う。



A 東京都の舵取りを担う経営者の立場から、決算審議でのご意見等を踏まえ、明るい未来を切り拓く予算を作り上げていく。
(小池知事)



経済・港湾委員会にて

Q 都は、企業に対する育児休業の取得支援を行っているが、働くパパママ育休取得応援事業のパパコースの実績、本事業の課題と合わせてこれをふまえた取組について伺う。

A 本事業の利用促進に向けては、より一層の周知が必要であることから、今後も、広報の強化などにより利用を促し、男性の育児休業の取得を後押し。(産業労働局長)

2年間で特に力をいれてきたこととその進捗

特に力を入れてきたこと	都政での進捗
・男性の育休取得の推進	男性が連続15日育休取得した企業に奨励金
・多様な保育サービスの推進	ベビーシッター利用支援事業の開始、夜間保育への支援創設
・女性の再就職支援	再就職支援3か月セミナー、都内各地で開始(レディGO!ワクワク塾)
・ベイエリアでの民間アイデアの最大化	官民連携ワーキンググループの魅力的な提言(「ベイエリアビジョン」検討において)
・ナイトライフ観光の推進	ナイトライフ観光振興助成金の創設
・自動運転の社会実装	実証実験支援等による早期事業化への後押し
・羽田空港アクセス線整備	田町ルート、JRが環境影響評価大井町ルート、具体化に向け関係者と協議

誰もが産まれてきて良かったと思える "世界一輝く都市" へ

乗り越えるべき課題 >>>

1 少子化と超高齢化による人口減少 2 気候変動と大規模災害による都市機能喪失のリスク

無所属 東京みらいの政策提言

東京みらいビジョン2020

(「世界一輝く都市」への具体的な道筋)

5つの
パラダイムシフト



1 ダイバーシティ&インクルージョン (誰もが自分らしく暮らしていける東京へ)

1 児童虐待の根絶に向けた未然予防

- DV等のSNS相談、養育費の受け取り支援などのひとり親支援
- 産後ケア拡充、小学校朝食提供事業
- ひとり親の都営住宅優先入居、民間シェルター設置支援
- 里親フォostリング機関創設、虐待経験者のある方のメンタルケア

2 待機児童ゼロの先にある保育改革

- 保育バウチャーなど利用者目線の仕組み
- 多様な働き方への対応
- 学童・放課後を豊かに
- 子どもの重大事故予防



3 女性活躍という言葉をなくす

- 短時間勤務、託児付きシェアオフィス整備、再就職支援
- 男性の育休促進、両親学級などの家事・育児における男女平等
- 妊産婦メンタルヘルスケア
- 選択的夫婦別姓制度を国へ働きかけ

4 ソーシャルインクルージョンの実現

- ソーシャルファームの創設
- 東京都版パートナーシップ制度などで多様な性を認めていく
- 障がい者の就労支援と工賃UPによる自立促進
- 高齢者・認知症患者の地域共生を推進

2 クリエイティブ&テクノロジー (技術開発と創造性で稼ぐ東京へ)

5 官と民の新しい関係性の構築

- イノベーションの創出(管理・規制から協働・緩和へ)
- シェアリングエコノミーの推進

6 画一化(組織)から多様化(個人)への転換

- 時間や場所にとらわれない働き方の推進
- 文化施設や都立公園を核とした街づくり
- ナイトライフ観光振興

7 保護から代謝への転換

- 中小企業の適切な廃業支援
- 起業家のセーフティネット
- 商店街の役割転換の促進



3 サステナブル&レジリエンス (持続可能な暮らしと災害からの回復力がある東京へ)

8 気候変動問題への処方箋

- ソーラーシェアリング、地域電力優先調達などエネルギーの地産地消・自産自消
- 都有施設の再生可能エネルギー利用率100%へ

9 世界標準のエシカル消費

- 人・社会・環境に配慮した消費行動の促進
- 生体販売の抑制など動物との真の共生社会

10 東京2020大会を契機に

- AIを活用したフードロス対策
- 紙袋・紙食器の普及などのマイクロプラスチック対策



11 レジリエンス(対応力・回復力)の強化

- 家庭における雨水浸透マス、感震ブレーカーの無償貸与
- 災害関連死対策の強化

12 コミュニティの再構築・多様化

- ボランティアポイント制度など新しい地域共生の促進
- 多摩ニュータウンにおける住宅・福祉・就労の連携強化

4 セーフ&コンフォータブル (安全・安心で快適な東京へ)

13 快適な移動の確保

- 時間差インセンティブ導入など満員電車ゼロへ
- コミュニティバス、パーソナルモビリティなどの次世代交通

14 犯罪を未然に防ぐ

- 再犯防止計画における福祉・医療・住居・就労の適切な連携
- 特殊詐欺対策録音機の無償貸与など犯罪を未然に防ぐ取り組み

5 教育改革 (一人ひとりの可能性を最大化する学びを、全ての子どもに届ける)

15 一人ひとりの可能性を最大化外部人材の活用

- 東京都版STEAM教育
- ICTを活用した個別学習
- 英語で学ぶCLIL教育
- 障害の有無に関わらず、一緒に学べるインクルーシブ教育
- 本物に触れる体験(音楽・アート・起業家など)
- 教育ビッグデータの活用
- 義務教育における多摩格差是正
- 教員の能力向上(360°評価や民間研修)
- いじめゼロへ(傍観者プログラム)
- ライフプラン(性・生)教育の充実

16 全ての子どもに教育格差の是正

- PTA改革(ICT・アウトソーシング支援)
- 就学前教育・体験の充実
- 塾・習い事クーポン
- 都外私立通信制高校無償化
- 通信制サポート高・フリースクールへの通学支援

私たちが「開かれた窓」になり、都民の皆様とともに進める都政を目指していきます。ご意見をお寄せください。

